

[夷隅感染症情報] (2020年 第9報)

2020年第34週 ～ 2020年第38週 (R2年 8/17 ～ 9/20)

1 管内の感染症発生状況

管内では、第36週に日本紅斑熱の発生が1例、第37週に集団の感染性胃腸炎疑いの相談が1例ありました。

2 千葉県内の感染症発生状況

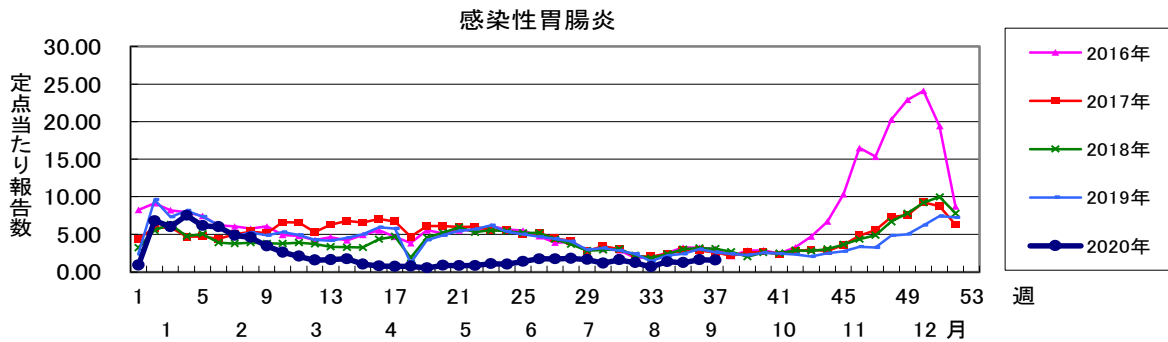
全数報告疾患では、結核、腸管出血性大腸菌感染症、レジオネラ症の発生が多くなっています。

第37週全数報告疾患集計表

一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	1	9
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ペスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
二類感染症	今週	累計(年)	発しんチフス	0	0
急性灰白髄炎	0	0	ポツリヌス症	0	0
結核	16	659	マラリア	0	3
ジフテリア	0	0	野兎病	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	ライム病	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	リッサウイルス感染症	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	リフトバレー熱	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	類鼻疽	0	0
			レジオネラ症	5	65
三類感染症	今週	累計(年)	レプトスピラ症	0	0
コレラ	0	1	ロッキー山紅斑熱	0	0
細菌性赤痢	0	0			
腸管出血性大腸菌感染症	8	74	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
腸チフス	0	4	アメーバ赤痢	0	24
パラチフス	0	0	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	8
			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	44
四類感染症(その1)	今週	累計(年)	急性弛緩性麻痺	0	1
E型肝炎	1	16	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	36
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0
A型肝炎	0	2	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4
エキノコックス症	0	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	29
黄熱	0	0	後天性免疫不全症候群	1	24
オウム病	0	0	ジアルジア症	0	1
オムスク出血熱	0	0	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	8
回帰熱	0	0	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
キャサスル森林病	0	0	侵襲性肺炎球菌感染症	0	51
Q熱	0	0	水痘(入院例)	0	9
狂犬病	0	0	先天性風しん症候群	0	0
コクシジオイデス症	0	0	梅毒	2	89
サル痘	0	0	播種性クリプトコックス症	0	2
ジカウイルス感染症	0	0	破傷風	0	3
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
腎症候性出血熱	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	4
西部ウマ脳炎	0	0	百日咳	0	76
ダニ媒介脳炎	0	0	風しん	0	6
炭疽	0	0	麻しん	0	0
チクングニア熱	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	1
つつが虫病	0	10			
デング熱	0	7	新型インフルエンザ等感染症	今週	累計(年)
東部ウマ脳炎	0	0	新型インフルエンザ	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	再興型インフルエンザ	0	0
ニパウイルス感染症	0	0			
指定感染症	累計(年)				
新型コロナウイルス感染症*	3,446				

3 感染症に関する情報提供

- 1) 9月24日(木曜日) ~ 9月30日(水曜日) は 結核予防週間です
結核は日本の重大な感染症です。今でも1日に43人の新しい患者が発生し、6人が命を落としています。タンのからむ咳、微熱・身体のだるさ等が2週間以上続く場合は、早めに受診しましょう。
- 2) これからの季節、感染性胃腸炎の発生が多くなります。千葉県における経年の発生状況は下表のとおりです。また、厚生労働省の啓発ポスターを添付しましたので、活用してください。



食品を取扱う方々へ

冬は特にご注意ください！

ノロウイルスによる食中毒

食中毒は夏だけではありません。
ウイルスによる食中毒が冬に多発しています!!!

データでみると

ノロウイルスによる食中毒は、

- ◆患者数で第1位
- ◆冬期に多い
- ◆大規模な食中毒になりやすい

原因別の食中毒患者数(年間)

ノロウイルス 63% (13,417人)

その他 7,958人

ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数(年間)

11~2月 66% (246件)

その他の月 128件

食中毒1件あたりの患者数

ノロウイルス 36.0人

その他 12.3人

※出典：食中毒統計(平成24～28年の平均、病国費員が判明している食中毒に限る)

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの手洗い

- 洗うタイミングは、
 - トイレに行ったあと
 - 調理施設に入る前
 - 料理の器付けの前
 - 次の調理作業に入る前
 - 手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
 - 指先、指の間、爪の間
 - 親指の裏
 - 手首、手の甲

調理器具の消毒

洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果をもつ方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/isyokuchukufukannon/yobou/q40204-1.html>
ノロウイルスQ&A

ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・ リネン類などの

消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの

処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオル等（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋等は、ビニール袋に密封して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素消毒液に浸します。
 - しぶきなどを取り込まないようにします。
 - 終わったら、ていねいに手を洗います。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

	食器、カーテンなどの 消毒、 <u>拭き取り</u>		おう吐物などの <u>処理</u> (袋の中で廃棄物を浸す)	
	200ppm の濃度の塩素消毒液		1000ppm の濃度の塩素消毒液	
製品の濃度	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L

- ▶製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと表記して保管しましょう。

ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<p><食品からの感染></p> <ul style="list-style-type: none"> ●感染した人が調理などをして汚染された食品 ●ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <p><人からの感染></p> <ul style="list-style-type: none"> ●患者のふん便やおう吐物からの二次感染 ●家庭や施設内などでの飛沫などによる感染 	<p><潜伏期間></p> <p>感染から発症まで24～48時間</p> <p><主な症状></p> <ul style="list-style-type: none"> ●吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ●乳幼児や高齢者は、おう吐物を取り込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

- 3) 9月24日に台風12号が千葉県に接近しました。今後も、台風が発生する恐れがあります。風水害等により、家屋等が浸水した場合の消毒方法について、千葉県疾病対策課のホームページから資料を添付しました。

浸水した家屋の感染症対策

- 感染症予防のためには、**清掃と乾燥**が最も重要です
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません！！
- **屋外（床下や庭）の消毒は原則不要**です

消毒の手順

消毒の前に十分清掃しましょう！

- ① ほこりから目や口を保護するため、**ゴーグル・マスク**を着用
- ② 清掃中のケガ予防に、**手袋・底の厚い靴**などを着用
- ③ ドアと窓をあけて、**しっかり換気**
- ④ 汚泥は**十分に**取り除き、**しっかり乾燥**
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません！！

主な消毒液と使用方法

- **ゴム手袋・長靴、ゴーグル**等を着用して作業しましょう！
- **次亜塩素酸ナトリウム**
汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合に使います
- **アルコール、塩化ベンザルコニウム**
色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使います

消毒液	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	0.02%に希釈する ① 食器用洗剤と水で洗う。 ② 希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③ よく乾燥させる。	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③ 金属面や木面など色あせが気になる場合は、水で2度拭きする。
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用する ① 洗剤と水で洗う。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない	希釈せず、原液のまま使用する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない
10%塩化ベンザルコニウム (錠状石けん)	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。

4 新型コロナウイルス感染症について

〈千葉県ホームページより〉

新型コロナウイルスについては、感染者の発生が続いています。

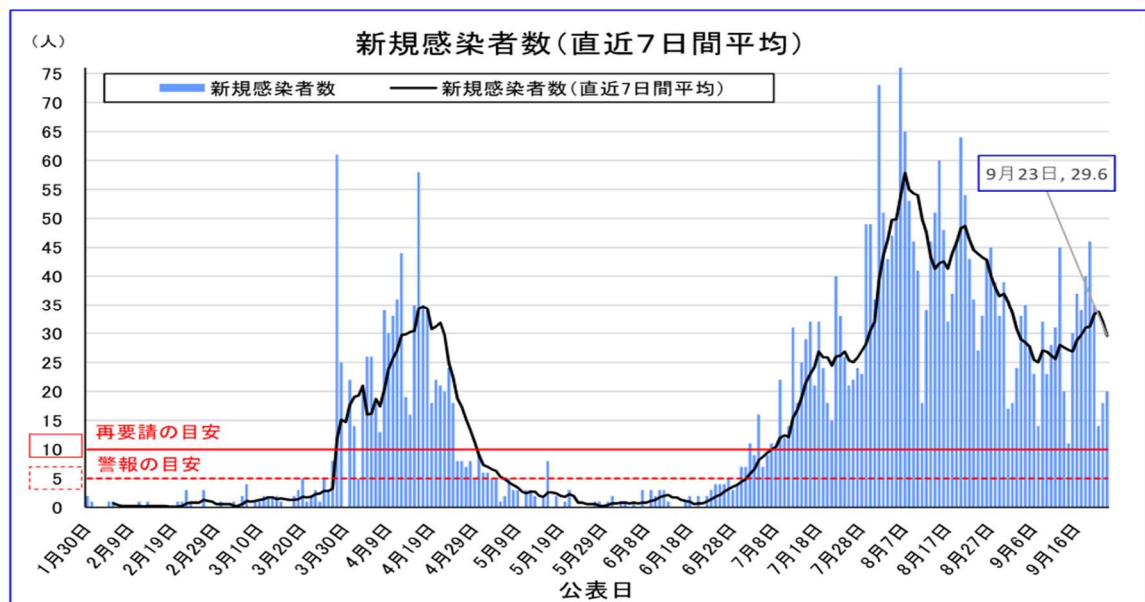
(千葉県内で確認された感染者数 : 令和2年9月23日15時現在)

陽性者数(累積) ()内は新規感染者	現在の感染者数	退院・療養終了	死亡
3,689(20)	328	3,293	68

(PCR検査実施状況 : 令和2年9月21日現在)

累積検査実施人数 (陰性化確認検査を除く)	直近1週間の検査 人数	直近1週間の 陽性者数	直近1週間の 陽性割合(%)
76,502	4,785	164	3.43

(9月23日 千葉県発表)



〈新型コロナウイルス感染症の電話相談窓口に関する情報〉

・ コールセンター

(電話番号) 0570-200-613

(対応時間) 24時間(土日・祝日を含む)

(対応内容) 帰国者・接触者相談センターの紹介、新型コロナウイルス感染症に関する相談、感染の予防に関すること、心配な症状が出た時の対応など

◎夷隅健康福祉センター(保健所)での相談

(電話番号) 0470-73-0145

(対応時間) 平日の午前9時から午後5時

(対応内容) 新型コロナウイルス感染症に関する相談、感染の予防に関すること、心配な症状が出た時の対応など

<リンク先>

- ・ 国立感染症研究所 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/>
- ・ 千葉県健康福祉部疾病対策課 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/index.html>
- ・ 千葉県感染症情報センター（千葉県衛生研究所感染症学研究室内）
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>
- ・ 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- ・ 厚生労働省検疫所（FORTH） <http://www.forth.go.jp/>

●管内の全数把握感染症情報 ●

<類別・疾患別集計表>

区 分	34週－38週	累計（2020年 発生分）
1 類感染症	0	0
2 類感染症		
結核	0	8
3 類感染症	0	2
4 類感染症 （※管内居住の患者数）	1	3（つつが虫病2 日本紅斑熱1）
5 類感染症 （※管内医療機関からの届出数）	0 0 0	0 0 0

● 管内定点把握対象疾患 ●

疾患名 （インフルエンザ及び小児科定点疾患）	2020年 1週～ 38週の 累計	直近5週の届出数				
		2020年 34週	35週	36週	37週	38週
1 インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く）	369	0	0	0	1	0
2 RSウイルス感染症	3	0	0	0	0	0
3 咽頭結膜熱	2	0	0	0	0	0
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87	3	1	1	1	2
5 感染性胃腸炎	28	0	1	0	1	0
6 水痘	2	0	0	0	0	0
7 手足口病	0	0	0	0	0	0
8 伝染性紅斑	9	0	0	0	0	0
9 突発性発しん	7	0	0	0	0	0
10 ヘルパンギーナ	5	0	1	1	0	0
11 流行性耳下腺炎	1	0	0	0	1	0

＜参考＞夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関
小児科定点 : 3 医療機関 の協力を得ています。

感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

【連絡】

登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

＜配信元＞

千葉県夷隅健康福祉センター（夷隅保健所）

【お問い合わせ先】

isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp
